

目標達成計画 ユニット2 (さくら)

作成日： 平成24年 4月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33 (12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援が必要である。	重度化、看取りについての対応・方針について共有できる。	重度化した場合・終末期について本人、家族の意向を聞き、事業所でできることの確認、方針の共有、マニュアルに沿った勉強会を行う。	3ヶ月
2	45 (7)	入浴において、本人・家族の希望に添えるように対応していく必要がある。	希望に沿った柔軟な対応を行う。 (季節によっては、入浴の時間や入浴方法、入浴回数を見直す等)	臨機応変に、本人・家族の希望に沿って対応していく。	3ヶ月
3	10 (6)	運営に関する、利用者・家族の意見等の反映が必要である。	利用者・家族の意見をスムーズに聞き出し、サービスの向上に努める。	・ご意見箱の設置を行い、意見に対して丁寧に取り組んでいく。 ・第三者苦情相談窓口のポスターを、見やすい場所に掲示する。	3ヶ月
4	2 (2)	事業所と地域とのつながりを深めるため、地域の一員として、日常的な交流が必要である。	今あるつながりを基礎に、さらなる地域とのつながりを広め深める。	・老人会・婦人会・子ども会と交流を深めていく。 ・清掃活動、リサイクル活動等に取り組んでいく。	6ヶ月
5	4 (3)	運営推進会議を活かした取り組みが必要である。	運営推進委員の方と常に連携をとり、運営推進会議の活性化を図る。	タイムリーな話題を議題としたり、介護に関する情報を発信したり、家族の方々にも参加してよかったと思えるような会議内容になるように取り組んでいく。	4ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。